

仙ノ倉山・シッケイ沢

3/7~8 鈴木鉄也

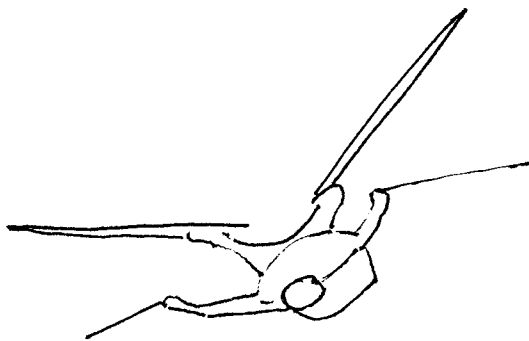
各駅停車の電車を乗継ぎ、越後湯沢駅へ行く。
元橋のバス停で降りた。火打峠のバス停は無くなった様だ。少し歩く。平標の登山口・火打峠には真新しいりっぱな小学校が建った。その先で、シールを着けていると、除雪車が上がって来た。ここも新しい別荘がいくつか建ってしまった。
ツボ足のトレースを辿る。その先も工事用のヤグラがあり、浅貝スキー場に抜ける尾根へ林道らしい道が続いている。久しぶりに来た河内沢は隔世の感がある。夕方の雪道は、おだやかでロマンチックでさえある。ここが、別荘地なら一等地だ。冷え込んだが風もなく、澄んだ星空を眺められる。枝沢のサラサラとした水の音が聞こえる。

3/8(日)

折れた小枝でテント地に、YSDと記して、
平元新道を登る。一時間も行くと、
一張りのテントがあった。
稜線に出る手前でアイスバーンと
なる。シールだけでは辛くなる。
一頑張りだ。



前回、来た時は悪天だった。抜けるような青空、冬の空気は澄みきっている。こうなると、「苗場スキー場のバカヤロどもめ」と思ってしまう。いかんいかん、もっと高尚にならねば。気も澄み切らねば。スキーアイゼンを着ける。ヤッケを着込む。食べて、休憩するが、後ろから登って来ない。小屋の赤い屋根が見える。平標山へはスキーアイゼンでも、齒がたたない位、時々、後滑りする。平標沢へは、直ぐ下れるが、悪天時はこんな所でも苦勞するものだ。風の強いイメージの平標山だが、着込んだヤッケを脱ぐほど今日は好条件だ。仙ノ倉へ行かざるを得ない。氷化したエビのシッポのついた道に行く。雪が結構、飛ばされている。地肌が見え隠れする。5～6人のパーティーが先行している。空身での往復のようだ。仙ノ倉山で入れ違ふことになる。それにしてもいい眺めだ。エビス大黒の頭の狭い雪稜。万太郎山の西面。そして、毛渡沢に続くシッケイ沢。降り口は、まだ少し堅い。それ程、不安ではなかった。スキーアイゼンのまま少し、下る。これ位なら滑った方が良かった。アイゼンとシールをはずす。右へ斜滑降し、谷向きのキックターンをする。軽い気持ちで「アラヨ！」っと、左へ体重移動しようとしたら、バランスを崩し、ズズーッと滑り出す。エッジが効いて、ゆっくり滑り出したが、次第に勢いづいてきた。ストック制動は、まるっきり効果がない。再三のエッジでの制動を試み、柔らかい雪の所で、一旦止まったが、向きが反転し、頭から滑り出した。まずいと思った。身体に衝撃を感じる。必死で反転し、エッジ制動を繰り返す。やっと止まった。いつ、板がハズれたのか憶えてない。ヴィンディングのプレートが、真っ二つに折れていた。この先、スキーが使えなくちゃ、進退極まってしまう。なくした部品を探そうと、慎重に登り返す。一つは2m程上に、もう一つは5～6m上に落ちていた。



仙倉山
からの降り口での滑落

ヒールの部分は、嵌め込み式なので、とりあえず使えそう。前後の押えは、一応大丈夫のようだが、少し回ったら、ハズレそう。これは一大事と思った。細引きとカラビナを通して、クライミングサポートに繋いだ。幸い、右手のスリ傷で済んだ。急斜面や、少しの危険を感じたら、頭や顔面、腕などの露出は避けるべきだ。スキーになるべく力が掛からない様に、ゆっくり慎重に下る。

間もなく、柔らかい雪の斜面となる。斜度もゆるくなる。

こんなに、いい斜面を目の前にして、自由にスキーを使えないなんて．．．。

とにかく、滑れるだけでも有り難い、大きくゆっくり回る。時々アイスバーンとなる。足を取られる。柔らかい所の雪質は良好だ。標高差1000mのシッケイ沢は、まさにスキー斜面だ。沢筋もゆっくりだが、ノンストップで毛渡沢の出合いまで。

いきなり、ザラメ雪になったと思ったら、大汗が吹き出してきた。オーバーズボンも、手袋も、帽子も脱いだ。テルモスの湯に雪を入れて、冷たくして、2～3杯飲む。ここまでスキーで下れただけでも、幸運と思わなくちゃ。新しく買ったワックスを塗る。この先、斜度は殆んど無くなる。折れた方のスキーは、踵開放できないからシール歩行できない。ワックスが効いてくれた。

877mの地点で、少し高巻いても左側を行けば良かった。無理やり行ったら、渡渉を、その先と2回もしてしまった。群馬大ヒュッテの手前、杉林辺りは、いい加減にしてくれと思う程、滑らず、デコボコとなる。

吊り橋を渡って、荷物を広げた。湯を沸かし、お茶を飲む。ここまで来れば、後は時間がかかっても何とかなるはず。山崎さん達は、平標沢を無事降りただろうか？。

スキーのトレースは無い。片方にシールを付けて、もう一方は、スキーを滑らす形で行く。いい方法だ。小松沢と出合う所から雪上車が走った跡があり、その上を片足滑降で行く。途中、左右のスキーを履き変えた。関越道の下をくぐって、除雪道の毛渡橋に1時間ほどで辿り着いた。

3/7(土) 越後湯沢14:30 ⇒ 元橋・火打峠15:05 → 16:20河内沢

3/8(日) 河内沢6:20 → 平標小屋上稜線7:45 → 平標山8:50 →

→ 仙ノ倉山9:45 (滑落)10:15 → 毛渡沢出合11:00 → 11:30 →

→ 877m地点12:05 → 12:15 → 群馬大ヒュッテ前12:50 → 13:35 → 毛渡橋14:25

→ 土樽15:06 ⇒